

現役教師ですが  
“教育”について  
こんなことを考えてます。

—これからの教育を担う人たちへ—

受験生にとって聞けそうで、なかなか聞く機会がないのが現役教師の教育観。  
毎月1つのテーマを取り上げ、先生方の考えを聞いてみました！

今月のテーマ：ドイツで暮らして感じたこと

今月は現役教師ではなく、特別に元サッカー選手にお聞きしました。ドイツに留学した榎山選手は、教育にも興味があり、ドイツの教室を見学。日本と異なる授業風景にショックを受けたようです。

著 榎山敬一郎

ドイツ在住24年。元サッカー選手、現在は企業コンサルタント。NPO法人日本語補習授業校副理事。

## サッカーだけで終わるわけにはいかない

私は小学校から高校卒業までサッカー漬けの日々を送ってきました。その延長でドイツへ渡ることになったわけですが、どこかでそんな人生に納得ができませんでした。

「一度きりの人生、サッカーだけで終わるわけにはいかない。」

こうしてなんとなく始まった私のドイツ生活ですが、まさかここまでチャレンジの連続になるとは想像もしていませんでした。

## 生徒たちがやりたい放題の授業

私は高校を卒業した年に19歳でドイツへ渡りました。向こうの国の同じ年代の人たちは、何を考えてどんなことをしているのだろうか。興味本位から知り合いの高校教師にお願いし、現地の高校3年生の授業に特別参加させてもらったのです。今更ながら随分と大胆なことをしたなと思います。

そこで目にした光景は今でも鮮明に覚えています。

授業中なのに先生は机の上に座って話をするし、水を飲んでいる生徒もいれば、途中でトイレに立つ生徒が何人もいます。一体ここはどこ？ 先生は何も言わないの？ と心の中で何度もつぶやきました。

しかし私にとって一番の驚きは授業の雰囲気でした。先生と生徒の距離が近く、とてもリラックスしているのです。それもあり、生徒たちの意見は次から次へと出てきました。

授業の終わりには私から先生へ質問をしました。「生徒たちはやりたい放題ですね？」。すると先生は「授業の邪魔をした生徒は一人もいなかったと思うけど、問題はあるかしら？」。生徒の態度を悪く言うどころか、私の授業は最高でしょう？ と言わんばかりの笑みです。

この国ではこんなことが許されるのか？ 日本じゃあり得ない！ いきなりのカルチャーショックでした。

## 授業の中心に生徒がいる

日本と違いドイツでは授業の中心に生徒がいます。

授業中は先生の質問に対し生徒たちが意見を出し合い、それに対してみんなで討論をする。これが一般的な形です。

授業中も休み時間と同じように何かと喋り声があります。その意見が答えとして正しいかどうかは重要ではありません。むしろ答えに間違いはないのです。

時にはヒートアップし過ぎで殴り合いの喧嘩になりそうな時もあります。そんな時は感情を抑えるのではなく、その感情をどのようにコントロールするのかを学びます。

また自分の考えをうまくまとめて相手に伝える、コミュニケーション能力を磨く場としても活用されています。自分の意見を積極的に言える生徒もさすがですが、その意見に対して臨機応変に対応する先生にも感心させられました。生徒はここでインプットとアウトプットを同時に学び、教師は生徒へ選択肢を与え、彼らのポテンシャルを見抜く力を養っているのです。

## スポーツ強豪国の由来

ドイツでは放課後にスポーツクラブへ通うのが最もポピュラーな過ごし方です。サッカーのようなメジャースポーツばかりでなく、陸上、バスケ、ホッケー、卓球、水泳など様々なクラブに人が集まるのも興味深いところです。

練習は週に2～3回、1回の練習は2時間程度。日本と比べると明らかに練習量が少ないですね。それなのに、大人になればサッカーは世界で1、2位を争う強豪国、他の種目でも世界的に上位に入る実力です。

なぜ練習量が少ないのにここまでうまくなるのか、強くなるのか。実は多くの子供たちはいくつかの競技を掛け持ちで習っています。後々その選択肢の中から自分に合った競技を見つけるのです。また指導

者は子供たちにどの競技が適しているのかを見分けます。ここでもまた選択肢が大きな役割を担うのです。

## 何て不便な国なんだ？

ドイツの店は平日が20時まで、土曜日は夕方まで空いていますが、日曜日は閉まっています。そして日本のようにコンビニもありません。これを聞くと皆さんは「何て不便な国なんだ」と思うでしょう。私も昔はそう思いましたが、慣れてくるとこの方が心地良く感じるのです。

週に7日間何かに追われるのではなく、1日はリセットする時間に充てる。これにより人の心にゆとりが生まれ、新たな力やアイデアが湧いてくるような気がします。

他にも、ドイツは欧州でも、高速道路使用料金が無料、速度制限がない区間が多いので有名です。理由は実際に自分で車を運転してみてすぐにわかりました。それは自己責任でルールを守るシステムが確立されているからです。これもまた、ドイツ人の国民性を語る上で欠かせない特徴の一つです。

## 失敗を恐れない

日本とドイツの違いは何か。それはきっと「失敗を恐れず積極的に行動する」ことではないでしょうか。人は失敗から学ぶことがたくさんあります。大切なのは失敗をしないことではなく、その失敗から学ぶことではないでしょうか。今の若い人たちにはこれからどんどん海外へ出てほしいと願っています。

海外では教育、文化、政治、経済、全てにおいて日本とは考え方が違います。それを自分の目で見て感じ、将来に活かしてもらいたいと思います。日本の豊かさや素晴らしさを今以上に感じることもできるかもしれません。

### 今月のまとめ

- ドイツでは自由な雰囲気の中で、生徒に選択肢を与えることを重視している。
- ドイツでは自己責任でルールを守るシステムが確立されている。